

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公表番号】特表2010-506342(P2010-506342A)

【公表日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-531805(P2009-531805)

【国際特許分類】

G 1 1 B	7/24	(2006.01)
G 1 1 B	7/004	(2006.01)
G 1 1 B	7/007	(2006.01)
G 1 1 B	7/135	(2006.01)
G 1 1 B	7/125	(2006.01)

【F I】

G 1 1 B	7/24	5 6 1 P
G 1 1 B	7/004	Z
G 1 1 B	7/007	
G 1 1 B	7/135	Z
G 1 1 B	7/125	B
G 1 1 B	7/24	5 6 1 M
G 1 1 B	7/24	5 2 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月17日(2010.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

グループ構造を有する記録層を備えた光学記録媒体であって、

前記記録層は、第1の波長で記録することに感応性があり、第2の波長で読み出されることに感応性があり、第1の波長において、グループ構造は、プッシュ - プル信号を生成するのに十分大きい1次回折光への回折効率を有し、第2の波長において、ほぼゼロの1次回折光への回折効率を有することを特徴とする光学記録媒体。

【請求項2】

前記第1の波長と前記第2の波長との間の差は、50 nmより大きいことを特徴とする請求項1に記載の光学記録媒体。

【請求項3】

第1の波長は約405 nmであり、第2の波長は約650 nmであることを特徴とする請求項1または2に記載の光学記録媒体。

【請求項4】

前記グループ構造は、120 nm以下のグループ幅と、約40 nmのグループ深度とを有することを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の光学記録媒体。

【請求項5】

DVDなどの媒体であることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の光学記録媒体。

【請求項6】

請求項 1 または 2 に記載された光学記録媒体と、該光学記録媒体上に記録するための光学ピックアップとを含むシステムであって、

前記光学記録媒体は、第 2 の波長において第 2 の開口数で読み出されるよう意図され、前記光学ピックアップは、第 1 の波長において記録用光ビームを生成する光源を有し、前記記録用光ビームの開口数は、第 2 の開口数に、第 1 の波長と第 2 の波長との比率を掛け合わせることによって与えられることを特徴とするシステム。

【請求項 7】

第 1 の波長および第 2 の波長の間の差は 5 0 nm より大きいことを特徴とする請求項 6 に記載の システム。

【請求項 8】

第 1 の波長は 4 0 5 nm であり、第 2 の波長は約 6 5 0 nm であり、開口数は約 0 . 3 7 4 であることを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の システム。

【請求項 9】

光学ピックアップは、プッシュ - ブル信号を生成するためのディテクタの前に光ビームの T E 部分をブロックする極性フィルタを備えることを特徴とする請求項 6 から 8 のいずれかに記載のシステム。